

「育ち直し」に 寄り添って



愛知少年院

院長 福岡 秀一 氏

出院を間近に控えた生徒が、カウンセラーに語った一節です。「これまで複数の少年院に入った。どこの少年院でも問題を起こし、自分はモンスターだった。でも、ここに来て、相手に対する自分の態度一つで相手からの反応が変わることを理解し、相手に対する攻撃性は出さないうようになった。」

今まで、薬物におぼれた両親のもとで育ち、自分の存在価値に悩み、死んだほうが楽になれると思いつけていた。でも、この少年院で様々な体験をし、教官の先生方との対話を通して、これまでの人生を受け入れ、前を見て進んでいくことを教わった。

良い自分も悪い自分もどんな自分であっても見捨てないで、いつも正面から向き合ってくれた教官たちに感謝する。自分の人生の中でこうし

教育随想



令和6年11月1日

11月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

教育随想……………	1
愛知少年院 院長 福岡 秀一 氏	
この人に聞く……………	2
岡崎医療刑務所 管理栄養士 黒柳 桂子 氏	
羅針盤……………	2
理科指導員 日下部教子	
ふれあい……………	3
六ツ美中部小学校 教諭 石谷 将大	
特集……………	4
生徒市議会 ～50年のあゆみ～	
お知らせ……………	6
フォト・ヒストリー…	8
探鳥会 (平成8年)	
この本を……………	8



て自分に向き合い続けてくれたのは、この少年院の先生方だけだ。」

令和五年の『犯罪白書―非行少年と生育環境―』によると、「家庭内に違法薬物を使用している人がいた」「食事や洗濯等、身の回りの世話をしてもらえなかった」「DVがあった」「殴る蹴るといった暴力を受けた」等のACE(小児期逆境体験)を、約九割の少年院在院者が有していると回答しました。また、非行少年だけではなく、調査対象者の保護者自身が、社会や家庭の中で孤立

していた実態も明らかになっていきます。社会は、彼らにとって安全・安心な場所ではなかったかもしれない。少年院における教育は、「育て直し」、「育ち直し」とも言われます。社会には信頼できる大人もいる、そう思える誰かに出会えることで、非行という手段ではなく、別な生きかたをしていけるきっかけになります。学校や地域とも連携しながら、子供たちの育ちを支えていきたいと思えます。

(ふくおか しゅういち)



おいしい食事を作るための挑戦

岡崎医療刑務所 管理栄養士

黒柳 桂子氏

刑務所で提供する食事の献立を考える。受刑者と共に、約百人分の食事を作る。黒柳さんは、そんな日々の奮闘記『めざせ！ムシヨラン三ツ星』刑務所栄養士、今日も受刑者とクサクないメシ作ります』を著し、刑務所の日常を社会に発信した。

刑務所で管理栄養士として働くことになった経緯を教えてください。

もともと料理が好きで栄養士の道に進み、学校給食に関わる仕事をしていた。そこで任期満了を迎えて次の仕事を探していたとき、たまま求人を見つけて応募したのが始まりです。当時は、自分の他に調理員がいると勘違いしていました。実際に働くことになって初めて、受刑者の方に指導をし、食を通して更生を支えるという仕事内容を知り、とても驚きました。

仕事をやる上でのやりがいについて教えてください。

まずは、難しいことに挑戦して得られる達成感です。刑務所での食事は、限られた予算と条件の中で、おいしくてボリュームのあるものを作らなければなりません。予算は、一日三食分で一人あたり約五三〇円です。キャベツが値上がりしたらもやして代用したり、ゼリーが一人分余れば、フルーツミックスの具として使い回したりしています。

刑務所では、料理酒やみりんなど、使用できない調味料もあります。何を組み合わせたらおいしくなるか、日々研究の繰り返しです。うまくいかないことはもちろんありますが、私はそんな困難を楽しんでいます。受刑者の方のアンケートなどで、工夫したメニューが好評だと、次も頑張ろうという気持ちになります。

また、受刑者の方に調理の指導をしていくことも、やりがいの一つです。初めは不慣れだった人も、続ける中で技能が向上し、頼もしくなっています。炊事場は私語禁止ですが、作業の指示をするときなどは受刑者の方とも会話をします。そのときに、ふと「出所したら母ちゃんに作ってあげよう」などとつぶやくのを聞くと、とてもうれしくなります。本を執筆することになった思いを教えてください。

多くの人は、刑務所の中でのことを知りません。刑務所と聞くと少し近寄りやすいイメージもあります。

だから、この場所でこんな日常があるということ、外に向けて発信してもいいのではないかと思ったのです。とくに、食というものは、老若男女誰もが関心をもつ分野です。世の中には、刑務所の食事をやゆした「クサイメシ」という言い方が存在しますが、私はそう言われたくありません。工夫しながらおいしいものを作り、自信をもって仕事をしています。

刑務所という場所の日常を描くことに賛否両論があるのも、承知しています。それでも、社会に対して何かよい影響を生み出すことができるかもしれないと思います。執筆しました。

今後の展望を教えてください。

新メニューの開発に力を入れていきたいです。今は、他の刑務所の炊事場へ見学に行くことも考えています。うちの刑務所では、私が考案したドーナツが人気メニューになっていますが、他の刑務所ではシュークリームを手作りしているところもあると聞き、ライバル心を燃やしています。これからは、よりおいしい食事を目指して、どんどん挑戦を続けていきたいと思っています。



氏名 黒柳 桂子
生年月日 昭和四十四年五月十六日
住所 岡崎市上地

理科における個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けて

理科指導員 日下部 教子

理科では、子供が自然の事物や現象などの対象に疑問をもち、理科の見方・考え方を働かせて問題解決しながら、その性質や規則性などを理解する。この過程において、個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために何が大切なのか。

このことについて、六年生「水よう液の性質」で、液性の違いについて、子供が問題解決に取り組んだA教諭の授業を基に考えてみる。

授業のはじめに、子供たちは、リトマス試験紙を使うと液性は大別して三つになることを振り返った。その後、「水溶液を仲間分けしよう」と学習課題を提示され、「前みたいにリトマス試験紙を使う」、「教科書に載っているムラサキキャベツの汁を使ってみよう」と、発表した。

A教諭は、実験に必要なと考えられる、一人六種類の水溶液入り





子供を信じる

六ツ美中部小学校

教諭 石谷 将大

Aさんは、休み時間のたびに私の近くに来る。配達係として、配付物を確認するためだ。口数は少ないが真面目で、責任感の強いAさん。学級では、一人でいることが多かった。

五月の生活アンケートに「学校はどちらかというと楽しい」と回答したAさん。その後の面談で、何か困っていることはないかと聞くと、「特にありません」と答えた。しかし、それがAさんの本音とは思えなかった。私が気になっていったのは、英語の授業での姿だった。友達と自由にペアを組んで会話をする活動で、Aさんはいつも誰にも声をかけなかった。Aさんは、そのことに困っているのではないだろうか。

「英語のとき、友達に話しかけづらかな。」

Aさんにそつと聞いてみた。困ったような顔をして、うつむいて黙るAさん。しばらくしてから、

「みんなが真剣に話しているから、話しかけづらくて。」

とAさんは口を開いた。続けて、「本当は、話しかけたいんだけど…」と心の内を明かした。目には今にも涙があふれそうになっていた。

「Aさんも真剣に取り組んでいるのだから、みんなも応えてくれるはずだよ。先生もサポートするから話しかけてみようよ。」

と勇気づけた。

次の英語の授業の日。「今日は自分から話しかけてみようね。きつと大丈夫だから。」とAさんに声をかけた。

「うん」と答えたAさん。その表情はいつもと少し違い、何か特別な思いを心に秘めているような気がした。ペア活動の時間になった。Aさんは周りの様子を伺っていたが、なかなか一歩を踏み出せないでいた。表情も硬くなってきた。そこで、

「Bさんが、まだペアが作れてないみたいだよ。」

とAさんに伝えた。すると、自らBさんに近付き、「ハロー」と声をかけることができた。Bさんとの会話を終えると、再び周りの様子を伺い始めた。私は、何とかAさん自身で行動してほしいと願い、見守った。

活動終了時刻が刻々と迫るが、その後、Aさんはなかなか動けない。「サポートをしたほうがいいな」と思ったとき、Aさんが動いた。友達

との会話を終えたCさんを見つけたのだ。AさんはCさんに近付いていき、「ハロー」と声をかけた。そこには、その日いちばんの笑顔でCさんと会話をしているAさんの姿があった。私は、心の中でAさんを称賛した。

もし、私が待ち切れずにペア作りを助けていたら、Aさんのその日いちばんの笑顔はなかっただろう。Aさんが、自ら一歩を踏み出す機会をつぶしてしまったかもしれない。子供を信じ、任せることがいかに大切であるかを、Aさんに教えられた気がした。その後の英語の授業では、様子を伺う時間が減り、友達と会話を楽しむAさんの姿があった。

七月の生活アンケートで、「学校は楽しい」と答えたAさん。七夕の短冊には、「いつもポジティブでいたい」と書いた。Aさんの気持ちが表れた太くてしっかりとした字だった。



試験管、液性を調べるためのリトマス試験紙、PH試験紙、ムラサキキャベツの汁やBTB溶液などを準備していた。この手立てにより、一人一実験が可能となり、子供は実験方法と進め方を自ら選択しながら、夢中になって学ぶことができた。

学びは個に委ねられ、子供たちは、実験中にチームの仲間と関わっていた。Bさんは、「どちらが強い酸性なんだろう」とつぶやいた。すると「リトマス紙の色だけじゃ、強弱は分からないよね。どうすればいいのかな」と相談が始まった。その姿をしばらく見守ったA教諭は「他の方法で調べてもいいよ」と声をかけた。すると、Bさんたちは協力して調べ始めた。そして、PH試験紙を使った実験により、水溶液の酸の強弱を判断することができた。Bさんは、納得いくまで実験を繰り返し、仲間や自分と対話したりして、水溶液の性質の理解を深めていった。

A教諭の授業のように丁寧な見取りと適切な手立てで、学びを支える子供同士の良好な関わりがあると、子供は、事象を科学的な視点で捉え、自由に比較したり、関係付けたりしながら問題解決を図ることが出来る。このような取組が、理科における個別最適な学びと協働的な学びの充実へとつながっていく。

生徒市議会

～50年のあゆみ～

ちゅうが



▲第50回生徒市議会の様子(令和6年)

生徒市議会は、昭和四十六年に発足した「生徒会連絡会」を経て、昭和四十八年に「生徒模擬市議会」として歩みを始めた。本年度五十回の節目を迎えることを受け、これまでの活動をまとめた記念誌が発行される。

第一回は、市内十四中学校の生徒会役員など約百名が参加した。第十回までは、中学生が質問提案者として議員役をし、市長や各部長が理事側として答弁をする現状と同じ形式で行った。第十一回は、質問・答弁ともに中学生が行う形式に変え、「一日市長」や「一日教育長」が誕生した。名称は、その後「生徒市議会」となった。

今年度は、①岡崎アピール②安全・環境③防災被災地支援④こども⑤地域活性化の五つの分野について提案された。そのうちのいくつかは、各部局から「挑戦してみたい」と前向きな回答を得た。

生徒市議会は、行政の支援・協力を得ながら行われる全国にも例を見ない行事である。中学生の提案が市政に反映されることもあり、自分事として社会への参加意欲を高める主権者教育の場となっている。中学生が岡崎市を見つめ、真剣にまちの未来を考えることを通して、ふるさとを愛する心を育み、社会の担い手として大きく成長していくことを願う。

第47回(令和元年)
「ライトダウンで未来に光を」
(新香山中)



▲自校の節電に関する取り組みを発表

第48回(令和4年)
「天下一岡崎五万石花火大会でギネス記録を」
(六ツ美中)



▲一斉に点火した「ドラゴン花火」

第49回(令和5年)
「岡崎市の新しいPR動画の作成」
(城北中)



▲リブラでのPR動画作成

届けられた中学生の声

昭和48年～
第1回から第10回

【生徒模擬市議会】

第7回（昭和54年）

「国際的な文化交流を」の提案に対して「来年には中学生代表を海外に派遣したい」と実のある答えが得られた。



▲第7回生徒模擬市議会の様子

昭和58年～
第11回から第20回

【生徒市議会】に
名称が変更された

第12回（昭和59年）

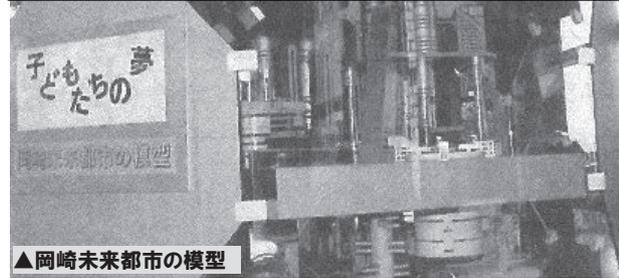
「岡崎市に公式野球場の建設を」（甲山中）市ではすでに計画段階にあり、平成3年に中央総合公園の野球場が開場した。



▲現在のレッドダイヤモンドスタジアム

第14回（昭和61年）

「葵博をむかえるにあたって」（甲山中）、「葵博の構想」（美川中）、「中学生の葵博への参加の仕方」（南中）葵博テーマ館に「夢のある岡崎の未来像」を模型化し、展示。



▲岡崎未来都市の模型

平成5年～24年
第21回から第40回

第31回（平成15年）

「市民に愛されるドクターヘリ」（北中）



▲数年後市民病院にドクターヘリの発着地が作られた

第37回（平成21年）

「鳥川小学校跡地の有効活用について」（河合中）



▲自然環境を学ぶ施設【岡崎市ホテル学校】建設につながった

第39回（平成23年）

「市制100周年 miso-1 グランプリ岡崎大会開催で岡崎を大PR！」（六ツ美北中）



▲数年後現在の NABE-1 グランプリとして実現

第40回（平成24年）

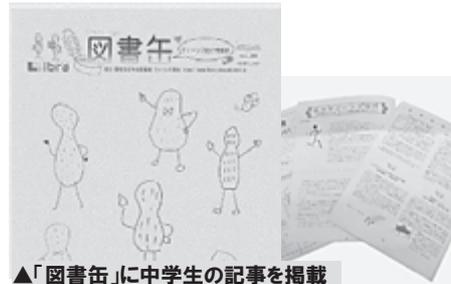
「愛される川、伊賀川に」（葵中）



▲伊賀川に植えられた彼岸花

第40回（平成24年）

「中学生によるLibraの活性化」（矢作中）



▲「図書日」に中学生の記事を掲載

平成25年～令和6年
第41回から第50回

第43回（平成27年）

「額田の『木づかい』で地元の山に『気づかい』を」（額田中）



▲岡崎サービスエリアにベンチを寄贈

第46回（平成30年）

「中学生も参加する乙川リバーフロント計画」（竜海中）



▲公募により名付けられた「桜城橋(さくらのしろばし)」



●第71回岡崎市理科作品展
第51回岡崎市技術・家庭科作品展
第61回造形おかざきっ子展

十月十九日(土)二十日(日)岡崎市中央総合公園にて、第71回理科作品展、第51回技術・家庭科作品展、第61回造形おかざきっ子展を開催した。

理科作品展には、市内中学校一〇二七点から選りすぐられた自由研究作品二五一点が展示された。また、技術・家庭科作品展では、木製のマルチラックやLEDライトスタンドなどの技術作品やボタンやレース等で工夫を凝らしたショートパンツやトートバックなどの家庭科作品約二五〇点が並んだ。展示会場となった武道館には、五五五人の入場者があり、斬新なアイデアと工夫あふれる作品に見入っていた。

また屋外では、岡崎市美術博物館前の広場からスタジア

ムの前を通り、武道場へと続く通路に、市内小中学校(附属三校を含む)、公立認定こども園の子供たちの造形作品約三五〇〇点が展示され、色とりどりの作品が爽やかな秋空に映えて壮観な光景となった。多くの親子連れが、道々に飾られた創意工夫あふれる作品の数々に見入り、足を止める姿があった。



●表彰

◆第19回全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会

○男子団体の部

3位 矢作中 中島 昊

◆第45回愛知県ジュニアオリンピック陸上競技大会兼第55回JOCジュニアオリンピック

CU16県代表選考会

○中学校の部

男子円盤投(1.500kg)

1位 福岡中 宮地 嵐俄

◆第145回秋季愛知県新人バドミントン大会

○女子ダブルスの部

優勝 葵中 田中 杏奈

◆第31回愛知県ヴォーカル・アンサンブルコンテスト

○中学校部門

最優秀賞(金賞)(全国大会出場) 竜海中

◆第13回日本学校合奏コンクール2024全国大会ソロ&アンサンブルコンテスト予選審査

○アンサンブル部門中学校の部

・弦楽合奏

全国大会出場 城北中

・金管八重奏

全国大会出場 翔南中

藤林 莉愛・畔柳 帆望

森田 茉優・服部 紗奈

橋田 一輝・小田 愛実

柴田 凪・栗飯原紗季

・打楽器四重奏

全国大会出場 翔南中

浅井 春乃・内山 芽衣

中牧 娑耶・佐野 絢菜

○ソロ部門中学校の部

・トランペット

全国大会出場 翔南中

藤林 莉愛

・ファゴット

全国大会出場 翔南中

山崎 梨桜

◆第13回日本学校合奏コンクール2024全国大会グラウンドコンテスト予選審査

○中学校の部

全国大会出場 福岡中

◆2024年度愛知県マイチング大会

○パレードコンテスト

金賞 南中

◆2024年度愛知県吹奏楽コンクール

○中学生A編成の部

金賞(東海大会出場) 矢作中

金賞 翔南中

○中学生B編成の部

金賞(東海大会出場) 美川中

◆第64回愛知県合唱コンクール

○中学校部門同声合唱の部

金賞(中部決勝大会出場) 六ツ美北中

◆第79回東海吹奏楽コンクール

○中学校A編成の部

銀賞 矢作中

○中学生B編成の部

銀賞 美川中

◆第77回中部合唱コンクール

○中学同声合唱の部

銅賞 六ツ美北中

◆第28回東海小学生バンドフェスティバル

○ステージパフォーマンス部門

銅賞 竜美丘小

◆第59回CBC子ども音楽コンクール

○中学校 合奏第一部門

優秀賞(中部決勝出場) 福岡中

○中学校 合唱部門

優秀賞(中部決勝出場) 竜海中

○小学校 合唱部門

優秀賞(中部決勝出場) 六名小

三島小

◆2024年度愛知県吹奏楽コンクール

○中学生A編成の部

金賞(東海大会出場) 矢作中

金賞 翔南中

○中学生B編成の部

金賞(東海大会出場) 美川中

◆第64回愛知県合唱コンクール

○中学校部門同声合唱の部

金賞(中部決勝大会出場) 六ツ美北中

◆第91回NHK全国学校音楽コンクール愛知県コンクール

○小学校の部

金賞(東海大会出場) 三島小

金賞(東海大会出場) 六名小

◆2024年度愛知県小学生バンドフェスティバル

金賞(東海大会出場)

愛知県教育委員会賞

朝日新聞社賞 竜美丘小

◆令和6年度少年の主張愛知県大会

優秀賞(愛知県議会議長賞)

六ツ美中 神谷 瑠音

◆第54回愛知県野生生物保護実績発表大会

愛知県知事賞 生平小

愛知県獣医師会賞 東海中

第57回 岡崎市中学校新人総合体育大会

種目	性	優勝	第2位	第3位	種目	性	優勝	第2位	第3位
陸上競技	男	南	六ツ美北	岩津	剣道	男	矢作	翔南	六ツ美北
	女	矢作北	甲山	新香山		女	六ツ美北	翔南	矢作
バスケットボール	男	城北	六ツ美北	葵	ハンドボール	男	SOUTH	WEST	CENTRAL
	女	福岡	六ツ美北	翔南		女	ALL	高浜	
バレーボール	男	矢作北	矢作	六ツ美	軟式野球	男	城北	矢作	六ツ美
	女	矢作北	六ツ美	南		女	WEST	NORTH	
ソフトテニス	男	河合	甲山	翔南	サッカー	男	竜南	竜海	六ツ美北
	女	矢作	北	甲山		女	幸田南A	幸田北B	幸田北A
卓球	男	矢作北	六ツ美	竜海	弓道	男	幸田北A	岡崎A	幸田北B
	女	北	矢作北	竜海		女	幸田北A	岡崎A	幸田北B

個人競技（1位記録のみ）

陸上競技

男子				女子			
種目	氏名	校名	記録	種目	氏名	校名	記録
100m	佐藤 巧	南	11"93	100m	原 芽咲	新香山	12"90
200m	籠生 夢空	北	25"07	200m	清水 明	矢作	29"24
400m	渡邊 拓実	岩津	55"93				
800m	村松 支葵	六ツ美	2'07"29	800m	矢野 萌花	矢作北	2'23"65
1500m	柵木 快心	六ツ美北	4'24"15	1500m	山口 奈優	矢作北	4'59"22
3000m	尾田 祥太	南	9'17"02				
110mH	天野 翔太	北	17"46	100mH	永山 ねね	竜海	15"75
4×100mR	立田・高橋 吉見・小野	岩津	47"54	4×100mR	原田・谷名 澤田・久山	矢作北	53"53
走高跳	田井中大和	竜海	1m65	走高跳	森田 あお	甲山	1m40
棒高跳	河合 悠季	六ツ美北	2m80				
走幅跳	森本 獅生	常磐	5m91	走幅跳	近藤 彩	甲山	4m83
砲丸投	清水 陸功	南	9m42	砲丸投	鈴木 万結	翔南	10m49

柔道

	階級	氏名	チーム名	校名
男子	軽量級	小笠原 新	WEST	矢作北
	軽中量級	岩月 颯真	WEST	矢作北
	中量級	白井 啓太	WEST	矢作北
	重量級	太田 匠政	WEST	矢作北
女子	軽量級	清水 花	ALL	矢作
	軽中量級	竹本 華乃	ALL	常磐
	中量級	森山 咲笑	ALL	矢作

弓道

	氏名	校名
男子	横井 青葉	幸田南
女子	吉本 結月	幸田北

令和6年度 岡崎市小学校体育大会

競技	優勝	第2位	第3位
ソフトボール	男子	北 梅園井田	連尺矢作北
		東 上地常磐南	常磐竜美丘
	南	六ツ美中部	六ツ美南部
	女子	連尺梅園	大門矢作南
バレーボール	男子	矢作南	六ツ美南部
	女子	北 細川井田	梅園矢作北
	東 本宿上地	山中奥殿	
	南	岡崎羽根	福岡六ツ美南部
バスケットボール	男子	北 矢作北井田	矢作東大樹寺
		南	羽根矢作南
	北	岩津大門	北野愛宕
	南	竜美丘小豆坂	緑丘男川
	南	六名六ツ美南部	六ツ美西部
サッカー	男女	北 梅園細川	常磐矢作北
		南	羽根竜美丘
陸上	男子	奥殿岡崎	井田
	女子	井田緑丘	常磐南

第62回 岡崎市小学校陸上競技大会

種目	氏名	校名	記録
100m	木戸 侑紀	奥殿	13"87
5年100m	城殿昂太郎	奥殿	14"77
80mH	中根 大晴	恵田	14"73
1000m	丹羽 結人	緑丘	3'19"40
4×100mR	宇野・鶴田 城殿・木戸	奥殿	57"19
走幅跳	寺田 仰志	大門	4m23
走高跳	加藤 湊	岡崎	1m30
100m	安藤 美琴	緑丘	14"02
5年100m	鈴木えみり	山中	14"43
80mH	鈴木 華	井田	15"51
1000m	橋口 莉奈	緑丘	3'39"60
4×100mR	橋口・安藤 倉橋・安藤	緑丘	59"72
走幅跳	野崎 結愛	井田	3m38
走高跳	米田 梨花	常磐南	1m20
小学混合 4×100mR	杉浦・朝長 新免・吉武	井田小	1'02"42

- <男子総合>
1位 奥殿
2位 岡崎
3位 井田
- <女子総合>
1位 井田
2位 緑丘
3位 常磐南



教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

番号	相談窓口	電話番号	相談受付日時
1	岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30
2	岡崎市こころのホットライン	0564-64-7830	月曜日～金曜日 13:00～20:00
3	愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～16:00
4	あいこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～16:30
5	名古屋いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間

・カ
ツ
ト

竜美丘小 横田 舞

探鳥会 (平成8年)

写真提供：宮崎小学校

子供たちが、双眼鏡やハンドブックを手に野鳥を熱心に探している。宮崎小が西三河野鳥の会・宮崎野鳥の会の方を招聘して行った秋の探鳥会の様子である。

昭和四十九年に宮崎中学校が額田中学校へ統合されたため、宮崎小学校が愛鳥活動を受け継いだ。昭和六十三年から始まった探鳥会は、年二回、春と秋に開催され、秋は保護者も参加する。全児童で取り組む野鳥検定などの愛鳥活動は、学区に根付いた活動である。

地域の豊かな自然環境や伝統文化を生きかし、地域を愛し続ける子供たちを育てる。こうした教育活動は、現在も各校さまざまに実践されている。



トラクターできれいに耕された畑。目の前に広がるその様子を見て、子供たちの目が輝いた。待ちに待った日がやってきたからだ。地域の方と共に、そこに菜の花の種をまいた。

この冬、菜の花は厳しい寒さに負けず育ち、春には美しい花を咲かせるだろう。子供たちの笑顔の花も咲かせられるよう、日々関わっていききたい。

とホ

霜目ツ



▲皆で見上げた五重塔(岩津小)

本物さながらに答弁する各部局長たち。今年で五十回を迎えた生徒市議会は、今も変わらず「よい岡崎にしたい」という願いがあふれていた。中学生ならではの柔軟でみずみずしい提案を届ける。その声が、実際の市政に反映されることもある。将来、「ふるさと岡崎」を創る原動力となる子供たちが育っている。

東の間の休息。受刑者にとって食事の時間は数少ない楽しみであろう。試行錯誤を経て生まれた人気メニューが「獄旨(ごくうま)ドーナツ」。税金を使うことに厳しい声もあるそうだが、「税金だからこそ、無駄なくおいしくお腹に収めたい」と語る。受刑者に「お母さん」と慕われる黒柳氏。食の力で受刑者の一歩を支えている。



*父が息子に語る壮大かつ圧倒的に面白い哲学の書
スコット・ハーショヴィッツ著
ダイヤモンド社 ￥2,420

心に残った一文
真実に到達するには考え抜くしかない

子供は、様々な質問や主張をし、言い訳や冗談を言う。けれど、その中には正義や権利、差別や真実など、哲学の種が数多く存在している。それゆえに、子供は皆、優れた哲学者だと著者は言う。哲学の目標は「考える人」を育てることで、そのためには対話が大事だそうだ。これは、授業や生徒指導などと同じで、いわば「教育」そのものだと感じた。

子供の問いに耳を傾けているか、驚きや疑問を無駄にしていないか、対等に対話し考えているか。子供の考える力を伸ばすかぎは「哲学」にあるといえよう。

- *天才読書 世界一の富を築いたマスク、ベゾス、ゲイツが選ぶ100冊 山崎 良兵 日経BP ￥2,640
 - *池上彰が大切にしているタテの想像力とヨコの想像力 池上 彰 講談社α新書 ￥900
 - *訂正する力 東 浩紀 朝日新聞出版 ￥925
- 秦梨小学校 山本 伸